

「トップマネージャークラス」について

元総務省自治行政局国際室総務事務官 永岩 誠

トップマネージャークラスセミナーは、政府開発援助(ODA事業)の一環として、経済・社会開発に地方行政の分野で協力することを目指す。ODA事業対象国の地方行政に携わる幹部を日本に招へいし、地方行政をめぐる諸問題について意見・情報等の交換を行うものです。

当セミナーは、平成二年度から総務省および消防庁で実施しており、これまでに三〇カ国から二七八人を招へいしています。平成一七年度はこれまで、六月にラオスからブンペン・モンポサイ首相府副大臣ほか八人、一月にタイからパンジャ・パイブーン内務省防災局防災アカデミー次長ほか四人、二月にモンゴルからバッドバヤル・ツォグドウランバートル市長ほか七人を招へいしました。

総務省主催のセミナーでは、①総務省幹部との意見交換、②地方自治制度に関するセミナーを通じた情報・意見交換、③地方視察とその地方公共団体首長や訪問先での意見交換を実施しています。消防庁主催のセミナーでは、①消防庁幹部との懇談、

②地方公共団体での現場視察を実施しています。

本稿では、二〇〇六年二月に実施したモンゴルトップマネージャークラスセミナーについて報告します。

モンゴルでは、六〇年以上にわたって維持されてきた社会主義体制が、一九九〇年に人民革命党による一党独裁の放棄、大統領制および複数政党制の導入、民主的自由選挙の実施等、民主化への大胆な改革が行われました。九四年以降プラス成長を維持しており、二〇〇四年の経済成長率は一〇%を超えています。

トップマネージャークラスセミナーにおけるモンゴルからの招へいは、今回で四回目となります。セミナー参加者は二月一日から二月一八日まで日本に滞在し、日程前半は東京において総務省幹部との意見交換や地方自治制度に関するセミナーを開催、後半は宮崎県および都城市において自治体の概要説明や意見交換、公共施設等の視察を行いました。

東京での地方自治制度に関するセミナー

は、総務省と自治大学校において開催しました。

総務省でのセミナーでは、桜井総務大臣政務官からのあいさつの後、自治行政局国際室の山崎室長が日本の地方自治の現状と課題について講演を行い、その後、セミナー参加者と総務省各分野の専門職員との意見交換が行われました。現在モンゴルでは、国から地方へ権限がほとんど委譲されていないため、地方自治の確立は重要な課題となっており、日本の地方自治制度に関して活発な意見交換が行われました。また、自治大学校では、柚木自治大学校長への表敬訪問、地方公務員の人材育成や市町村のあり方についての意見交換、校内施設の視察を行いました。

セミナーのほかに、山崎総務副大臣、林事務次官への表敬訪問を行いました。また、総務大臣主催歓迎レセプションにおいて、竹中総務大臣をはじめ、総務省幹部職員や地方自治関連団体の幹部職員らと意見交換を行い、交流を深めました。

地方視察先の宮崎県では、安藤宮崎県知事を表敬訪問



↑安藤宮崎県知事を表敬訪問

および長峯都城市長との意見交換や、宮崎県立芸術劇場、国立都城工業高等専門学校、BTVケーブルテレビ等の施設を視察し、関係者からの説明を受けました。

宮崎県の担当者からは、県と市町村との役割、地方税、住民サービス等について実務的な地方行政の概要説明を受けました。

国立都城工業高等専門学校では、都城市とウランバートル市との姉妹都市提携の

きっかけとも

なった風力発電機について説明等を受けました。風力発電機をモンゴル技術大学に設置するという研究協力のみならず、人的交流も推進するため、一九九五年、両学校間では学術交流に関する協定を締結しています。

BTVケーブルテレビでは、モンゴルUBSテレビと

トップマネージャーセミナー 過去の招へい実績

年度	事業時期	招へい国	招へい人数	地方視察先
H2	10/15~10/27	中国・タイ・フィリピン・ブルネイ	8	埼玉・京都・岡山
H3	7/18~7/25	韓国	9	北海道
	10/15~10/25	モンゴル・マレーシア・ネパール・ブータン	8	宮城
H4	8/24~9/1	インドネシア	8	岩手・秋田・函館市
	11/25~12/2	マレーシア	12	京都・大阪・鳥取
H5	6/28~7/7	モンゴル	10	大阪・大分
	12/12~12/19	中国	10	山口・京都
H6	8/24~9/1	ベトナム	10	福島・宮城
	11/16~11/24	タイ	9	富山
H7	6/25~7/3	フィリピン	9	大分
	11/12~11/20	インド	7	香川
H8	7/24~8/1	ネパール	10	静岡
	12/15~12/23	トルコ	10	和歌山
H9	5/18~5/26	ウズベキスタン・カザフスタン・キルギス	10	岩手
	9/14~9/22	マレーシア・インドネシア・タイ	8	北海道
H10	7/12~7/20	ミャンマー・フィリピン・ベトナム	7	福岡
	11/12~11/23	中国(消防庁の招へい)	5	京都・大阪
	11/29~12/7	アルゼンチン・ボリビア	6	兵庫
H11	7/11~7/18	チェコ・ハンガリー・ポーランド	9	香川・広島市
	11/3~11/12	マレーシア(消防庁の招へい)	5	京都市・神戸市・名古屋
	1/30~2/7	ラオス	3	宮崎
H12	7/9~7/16	ルーマニア・スロバキア	6	長崎
	10/15~10/22	シリア・ヨルダン	9	福岡・長崎
	11/8~11/16	フィリピン(消防庁の招へい)	3	横浜市・京都市
H13	7/22~7/29	インドネシア	8	岩手
	1/14~1/20	インド	6	福岡
H14	6/2~6/9	トルコ	7	和歌山
	11/16~11/22	モンゴル	7	鳥取
H15	11/26~12/4	インドネシア(消防庁の招へい)	5	川崎市・大阪市
	6/30~7/5	ベトナム	8	広島
	9/16~9/22	ベトナム(消防庁の招へい)	5	神戸市・京都
H16	2/29~3/6	カンボジア	8	佐賀
	6/20~6/26	バングラデシュ(消防庁の招へい)	5	名古屋市
H17	2/13~2/19	ベトナム	6	大分
	6/26~7/2	ラオス	9	福岡・福岡市
	11/8~11/15	タイ(消防庁の招へい)	5	神戸市
	2/11~2/18	モンゴル	8	宮崎・都城市
合計		30カ国	278	

の綿密なつながりを持った新鮮な情報を地域に放送しており、その現場を実際に視察し、説明を受けました。

セミナーを通して、参加者は、関係者からの説明に熱心に耳を傾け、さらに今後の交流や協力につながるよう積極的に意見交換を行っていました。

二〇〇四年に発生した新潟中越地震の際には、モンゴル政府より五二〇枚の毛布の支援を受け、モンゴルの一般市民からも

多くの義援金が寄せられました。また、大相撲界でのモンゴル力士の活躍は、毎日モンゴル国内で生中継されており、力士のしこ名を日本語のまま覚えるに至るほど、極めて高い人気を誇っています。

今後、今回のトップマネージャーセミナーを契機として、日本とモンゴルの地方行政分野はもちろんのこと、そのほかの分野も含めた幅広い視点からの友好・協力関係が一層促進されることを期待します。